

「場所の原風景 高沼田んぼ見沼田んぼ再生都市

ヒートアイランド対策水緑保全再生活用」展示会

主催：「さいたまの森アーカイブ」
共催：埼玉県立浦和図書館（展示会会場）
日本大学宇杉研究室（展示担当）
日本建築学会都市形成・計画史小委員会
協力：埼玉県立文書館（依頼中）
後援：埼玉県（県土整備部）
さいたま市（都市局）
埼玉県住宅供給公社

現在のまちづくりにとって地域に共有できるコモンイメージを継承することは極めて重要な問題になっています。都市と地域の原風景、都市の原形を再確認・共有することも新たな生活空間・都市空間形成の課題になっています。このような立場で一昨年に「場所の原風景 埼玉会館・県立浦和図書館」を開催しました。今回はさいたま市の中央と東部に広がる高沼の原風景、見沼の原風景には田んぼがかかせないとして、また昨今大きな問題となっているヒートアイランド対策の有効な手法として、高沼と見沼の田んぼを再生することを提案するものです。

埼玉県は西部の山地を除いて、台地と低地が組み合わされた平野が広がっており、県は河川水路と緑の複合的な景観形成を目標にし、さいたま市は荒川と見沼の東西の水緑コリドール構想を柱にしています。一方、中心市街地には都市整備の多くの課題もありますが、高沼市街化調整区域には「高沼用水河童の森」をはじめ、市民参加の環境保全・環境デザインも始っています。今回はこのような背景の中で日本大学宇杉研究室が「高沼・見沼田んぼ再生都市構想」を提案しているので、これを中心に高沼地区を中心として地域の原風景とその保全・活用について展示・提案するものです。

地域に継承されてきた空間システム・景観システムを尊重するまちを形成・創生していくには地域・地区の原風景となってきた空間的記録を収集・展示・解析・交流・継承する活動が重要と認識し、「さいたまの森アーカイブ」活動を開始しました。今回は高沼の環境に意志と活動をお持ちの方々と連携して下記の展示会を企画します。高沼・見沼の地はさいたま市・埼玉県の空間形成の上で常に人々の中心となってきた象徴的な場所であり、多くの方々が共有できる体験空間の蓄積があります。この共有できる空間体験の背後に歴史的経過とその反映があることを知り、それを次の若い世代に伝え、交流を図ることは価値多いものと考えます。

以上を本展示会の目的とし、その概要は下記のとおりです。

記

対 象	一般県民
場 所	埼玉県立浦和図書館階段ギャラリー
期 間	2009年3月3日（火）～3月15日（日） （研究懇談サロン：3月4日水曜日午後6時半～、埼玉会館6A会議室）
展示時間	浦和図書館の開館時間と同じです。（火曜日から日曜日までは、午前9時から午後7時まで、月曜日は休館）
展示概要	都市のヒートアイランド現象に水緑風空間の計画的な配置が必要とされているところから、さいたま市の河川・田んぼ空間の価値を提唱し、その中心にあった高沼田んぼ・見沼田んぼの原風景と現在の活動を考えながら新しい場所性と都市デザイン・まちづくり、まちのコモンスペース継承再生について考える。

連絡：日本大学宇杉研究室（渡辺：03-3259-0462）埼玉県住宅供給公社（寺尾：048-829-2863）
埼玉県立浦和図書館（千吉良：048-829-2821）さいたまの森アーカイブ（青木 048-874-3808）

さいたまの森アーカイブ研究懇談サロン 20090304

さいたまの歴史まちづくり

場所の原風景：高沼田んぼ見沼田んぼ再生

主催：さいたまの森アーカイブ

場期：3月4日水曜日午後6時半～、

場所：埼玉会館6A会議室

さいたまを歴史を感じて生活を楽しめるマチ・観光のマチに再生しましょう。

地域の原風景をアーカイブによってさぐり、再生しましょう。

場所の原風景をアーカイブによってさぐり、再生しましょう。

場所の原風景再生によって地域のコミュニケーションを再生しましょう。

地域の原風景再生によって地域のさいたま活力を再生しましょう。

挨拶 大村 進
(さいたまの森アーカイブ)

講演会
進行 松田完司
(さいたまの森アーカイブ)

講演1 宇杉和夫 「見沼高沼東縁西縁用水保存」と「さいたまクロスパークウェイ構想」
(さいたまの森アーカイブ)

講演2 (渡辺将智) ヒートアイランド対策：「さいたま十字田んぼ再生計画」
(日本大学宇杉研究室)

講演3 須之部大 見沼から『高沼散歩』を考える
(与野の水と緑を考える会)

講演4 鈴木清史 「高沼用水河童の森」の活動
(こうぬま・水と緑を楽しむ会、お願中)

座談会 「さいたまの歴史まちづくり」

進行 青木義脩
(さいたまの森アーカイブ)

講演 笠原 隆 「歴史まちづくり法」について
(文化庁文化財部伝統文化課文化財保護調整室長)

座談 見沼・高沼と「歴史まちづくり」

参加費 500円